

令和7年度第1回国有林モニターアンケート（結果概要）

東北森林管理局では、開かれた「国民の森林」の実現に向け、国民の皆様のご意見やご感想を適確に把握し、それらを反映した管理経営を推進するための取組の一つとして、国有林モニター制度を設けています。

この度、令和7年9月に、令和7年度第1回国有林モニターアンケートを実施しましたので、その結果概要についてお知らせします。自由意見等については、抜粋・整理して掲載しております。

今回アンケートにご協力いただきました国有林モニターの皆様に、厚く御礼申し上げます。

○アンケートの実施概要

発送 : 令和7年9月4日
回答期限 : 令和7年9月26日
回答率 : 66% (47人中31人)

回答者の内訳

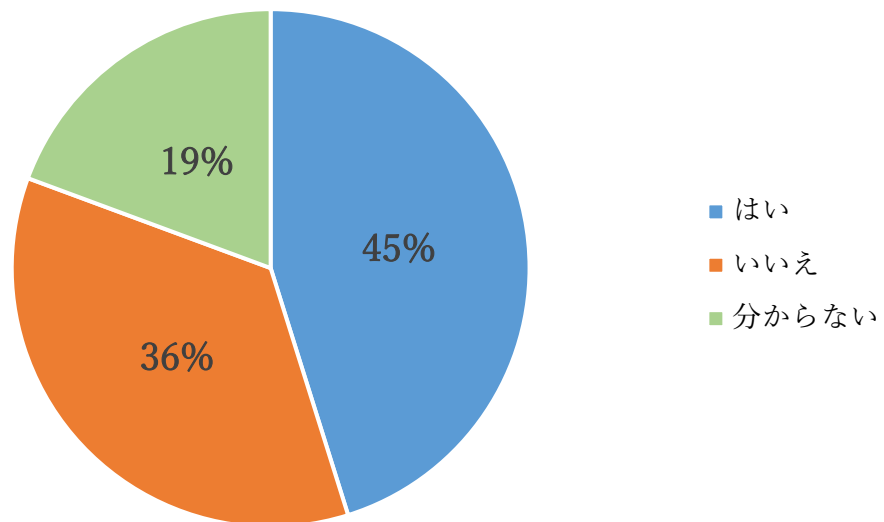
	男性	女性	計
～29歳	1	0	1
30～39歳	3	1	4
40～49歳	3	5	8
50～59歳	2	3	5
60歳以上	9	4	13
計	18	13	31

国有林モニター制度とは、国有林野の管理経営に国民の皆様のご意見・ご提案を役立てるため、広報やパンフレットで情報提供を行うとともに、アンケートの実施やモニター会議の開催等を通じて意見を伺うなど、国民の皆様と国有林との間で、双方向の情報受発信を行う取組です。

現在、令和6年4月～令和8年3月の2年間を任期として、管内5県の47名の方に国有林モニターとして活動していただいております。

1 適切な森林整備の推進について

(1) 御自身の森林との関わりの中で、森林の整備が十分に行われていると感じますか。



【理由】

1. はい

- ・自身が生活する範囲（道路・公園等）においては、十分に整備されていると感じる。
- ・山の仕事に携わる人達がいるから、私達は、安全に生活出来ていると思う。
- ・国有林については様々な取組がなされ、森林の整備が行われていると知った。ただ、民有林について、整備がなされていない所が多く、相続などで管理する人が地元になくなっていく所が多くなっているような気がする。
- ・大船渡市で発生した山林火災から一日でも早く、復旧復興を目指すため、国・県・市・民間が一丸となって頑張っているから。
- ・植林事業や植樹祭等、防災に関しての森林整備などが行われている。
- ・トレッキングで八幡平や須川高原によく行くが、手入れがされており、子どもや高齢者でも気軽に森林とふれあえるから。
- ・森林保護の活動が垣間見られるから。
- ・新聞やテレビ等の報道から感じる。
- ・規模の大きさに対しては地味なものであるが、森林に関する事業などに参加する時に感じる。

2. いいえ

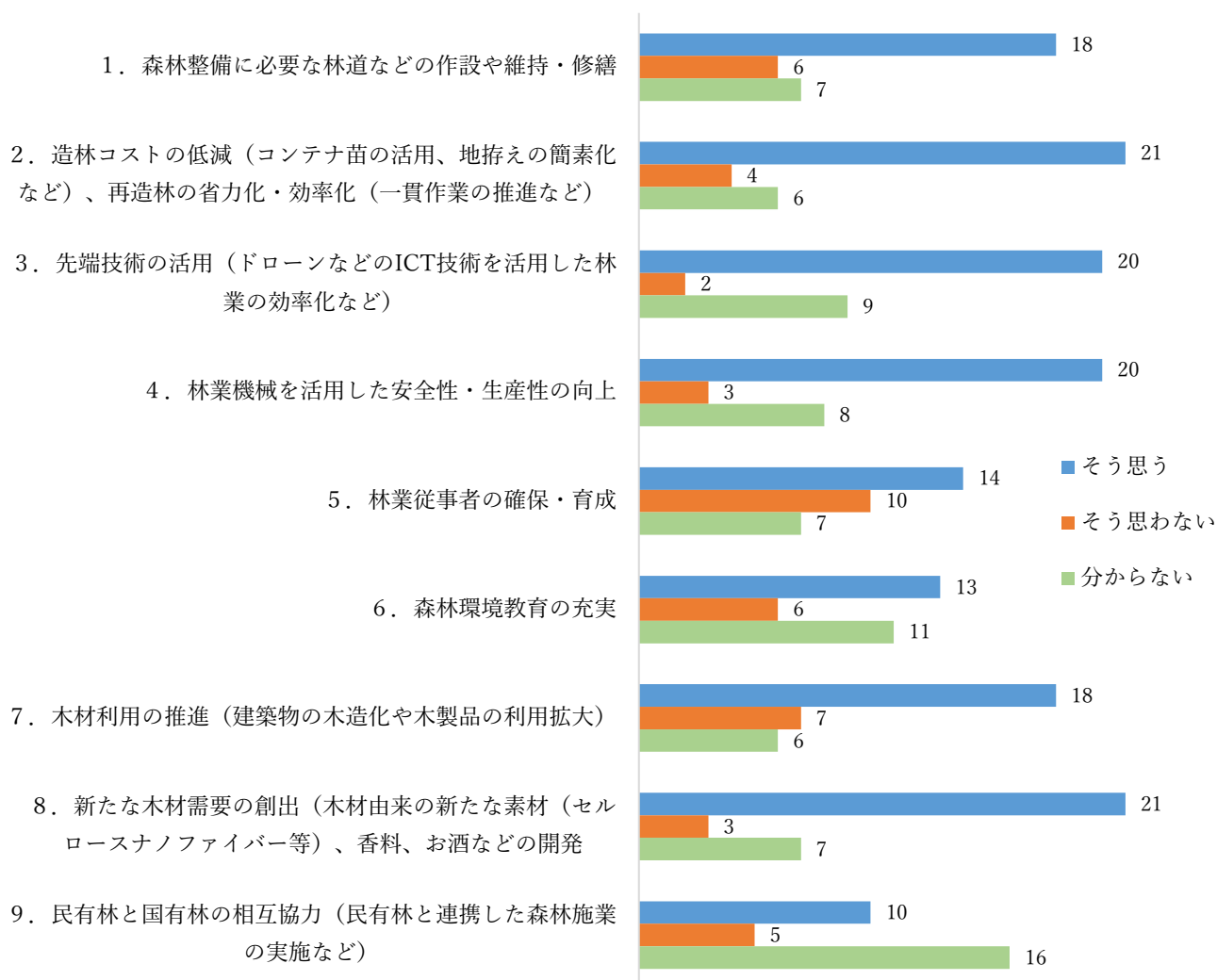
- ・身近な里山の民有林を見るならば松枯れ、ナラ枯れがひどく所有する自治体も追いつけない現状であると考えから。
- ・身の回りで森林の整備を感じることはない。
- ・適切な間伐等、整備が追い付いていないと感じる。
- ・自身が所有する山林も含め、手入れが全くされていない森林がとても多いと思う。
- ・山に入っていくのが怖いと思うような手入れされなくなった山々(自分の家族所有の山も含め)及び山に至るまでの道が身近なところにあるため。
- ・年々、人力での作業が高齢化し難しくなっている。
- ・山間部で太陽光パネルに出くわすことが多くなった。森林の活用としてどの程度が「適切」なのか難しい問題かと感じている。温暖化によるのか分からないが、東北でも竹林が目立つようになっている気がする。管理や制御が必要かと思う。
- ・素人目線なのでハッキリとは分からないが、私が普段通っている道路脇は、草もだが杉の木が高くそびえている。少しずつ整備(伐採)されてきているがまだまだであり、景観の問題、見通しの悪さ等改善して欲しい。
- ・国有林の整備はされてると思われるが町道付近の民地は殆ど手付かず。
- ・国有林の整備はされているようだが、しかしながら、林野は広大であり、里山歩きなどに参加しているとまだまだ十分とは言えない現実も感じられるため。
- ・整備されていない森林の方が多くみられるから。
- ・長期に渡る不整備による影響が関わっての現在に至っているので、森林の整備は困難なのだと感じる。

3. 分からない

- ・多忙により森林との関わりが乏しいため。
- ・整備しているとは思いますが、ニュースで木が折れケガをした等の事故を見ているため。
- ・今回の大船渡市林野火災で所有の山林が被害にあった。火災前は刈り払い等を人に頼んで行っており、整備はしていると思っていたが、近隣の山林所有者がどのようなだったのかは分からない。
- ・森林の整備が十分に行われている状態を理解していないため、森林を見ても整備状況が十分か判断できない。
- ・あまり森林に近づくことがないため。

（２）森林の持つ公益的機能の発揮のために、「伐って、使って、植えて、育てる」という適切な森林整備が重要ですが、

①適切な森林整備を推進していくための次の取組は十分行われていると思いますか。



② ①で「そう思わない」と回答した方は、その理由を教えてください。

（１～４．森林整備に必要な林道等作設・維持修繕、造林コストの低減・再造林の省力化・効率化、先端技術の活用、林業機械を活用した安全性・生産性向上）

- ・土砂崩れや沢水の増水等で以前と比べて林道が狭まっているところが身近にあるため。
- ・国有林の事例紹介で各種取組が積極的に行われていることは理解できるが、全体の作業・協働の中での絶対的な取組量として十分であるかは判断できない。
- ・全体的に、伸び代だらけだと感じる。森林環境の維持等が話題に上がってきたのは近年で、今後、今やっている活動を充実させることで、改善回復発展に繋がると思うから。

- ・都道府県により機能発揮に誤差は生じると感じるため。公的機関においては長期的展望を見据えての計画を立てていると感じるが、そこに住む私達の展望、国の緑を維持管理する責務の持ち方が希薄な様子が伺える（国民意識の希薄さ）。ただし、実際機能発揮されている地域もあるので、国民全体で緑を守ることの大切さを自分の責務としていけたらと感じている。

（５．林業従事者の確保・育成、６．森林環境教育の充実）

- ・森林面積に比べて、林業事業体が少ないように思う。
- ・全業界でもそうであるが、現場の担い手不足は深刻。
- ・新規就労者が少ないということはよく聞く。自伐型林業を増やす方向に舵を切るべきだと思う。
- ・林業だけではないが若手が少ない。少子高齢化の影響があるため。
- ・学校等での出前授業などを通して国有林野に対して、もっと積極的に動いても良いのではと思うから。
- ・若手の育成・教育、人材確保が急務と考える。
- ・人数の下げ止まりは見えていると思うが、各種努力・啓発により新規参加者が十分に増加するに至っているとは思われないため。
- ・森林環境教育について、都市部の大多数の人には届いていないのではないかとと思う。機会に接しても知識として頭の中をスルーする程度に留まっているのではと感じる。
- ・林業従事者は林業大学という施設が設立されていて、息子の友人達も何名か卒業しているが、まだまだ不足しているという話を聞いた。育成の面ではそういった場所があるのでこれから育成されていくのだと期待している。

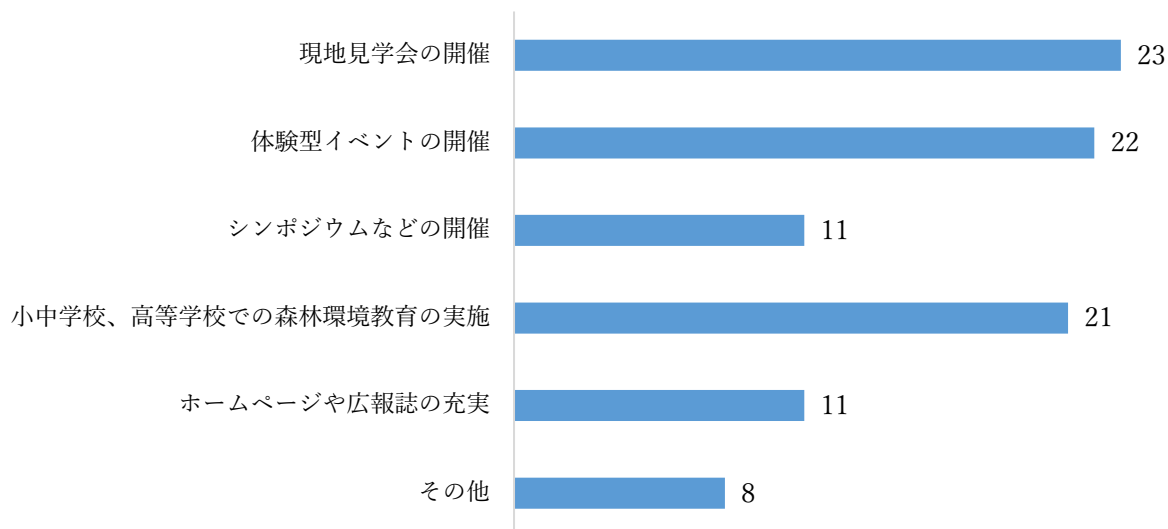
（７．木材利用の推進、８．新たな木材需要の創出）

- ・木材利用の推進については頑張っていると思うが、時代が変わり、他の材料、製品も開発、改良され続けているので簡単に成果は見えにくいと思う。
- ・新たな木材需要の創出についてはあまり身近で見聞きすることがないのでまだまだだと思うが、重要な課題だと思うので今後新たな取り組み、発見等に期待したい。
- ・もっと日本産の材料を使っていける環境が整うといい。割高でも日本産の良さをアピールして購入意欲が湧くように宣伝、認知されることを願う。

（９．民有林と国有林の相互協力）

- ・現状がよく分からないが、国が森林維持管理の予算を増やして、ある程度国主体で森林を管理してほしい。
- ・所有の山林が被災し、被害状況の確認も難しく（クマの出没や林道、避難道の整備が無い）今後、年齢も高くこのまま所有していく事が難しい為、どのように協力していったらいいのか分からない。

(3) 適切な森林整備の取組を一般に広く発信していくためには、どのような取組が必要だと思いますか。(複数回答)



【その他】

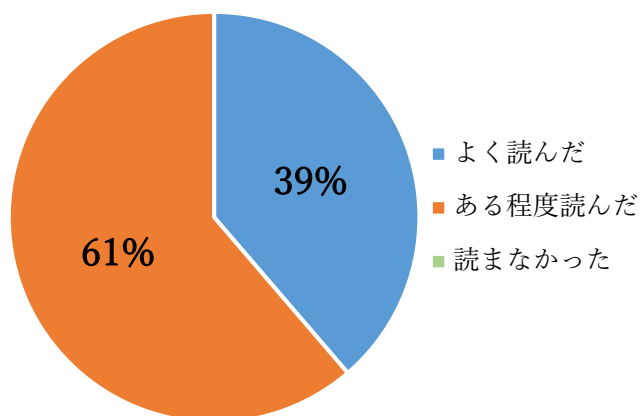
- ・ TV や新聞、インターネットで広く宣伝。
- ・ 民有林の所有者に対する啓発活動。
- ・ 今後大人になる人達に森林に対し大いに関心を持ってもらい、みんな一緒に考える必要がある。例えば大学１年生（森林関係を学んでいる）にファシリテーション※をしてもらい、小学生等に森林に詳しい子供先生になってもらうなど、持続性のある森林環境学習発信グループを作って欲しい。また、森林教育先進国ドイツの生徒、内閣官房とシンポジウムをして欲しい。
- ・ 文科省とタイアップして、教科書等でも今よりも充実させて欲しい。
- ・ 大学生、社会人にも広く体験させることも必要かと思う。
- ・ 体験型イベントのイメージよりさらに長期間で、実際の現場的な作業協力を行う場があればと思う。危険や宿泊の問題等もあると思うが考慮した上で。
- ・ 色々な世代の方を対象としたイベントや TV 番組など。
- ・ TV などの多くの人の目に触れるメディアや市町村の広報誌で取り組んでいることをお知らせする。
- ・ 各地の管理署単位で小規模でもいいので、現地見学会（座学含む）を開催。市町村のイベントとのコラボレーション。昨今、全国各地でウォーキングイベントが多数開催されているので、それらのイベントに参加してはどうか。里山歩きなど毎回盛況なようだが、参加者は山歩き好きでも林野についての認識は高くないようなので。

※ファシリテーション：会議やミーティングなどの集団活動において、問題解決やアイデア創造、合意形成等の様々な知識創造活動を促進したり、舵取りをすること。

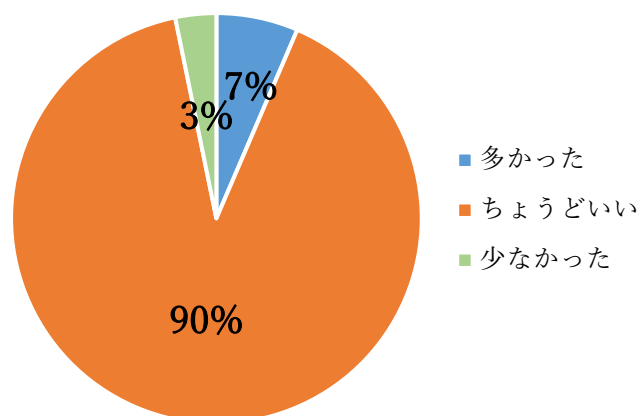
2 情報発信について

(1)「東北の国有林」は、広く一般の方々に、東北森林管理局の取組の概要を知っていただくためのパンフレットです。「東北の国有林」について次の問いにお答えください。

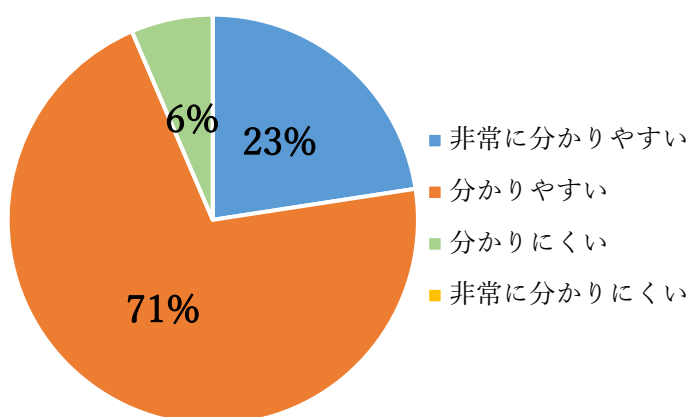
①資料はどの程度読みましたか。



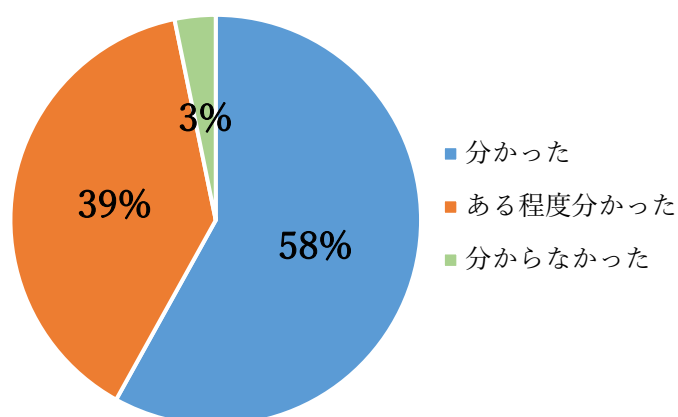
②資料の分量はいかがでしたか。



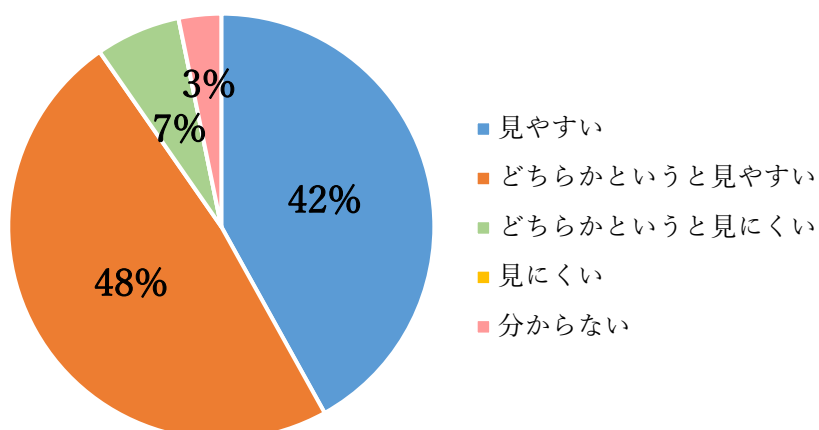
③内容は分かりやすいものでしたか。



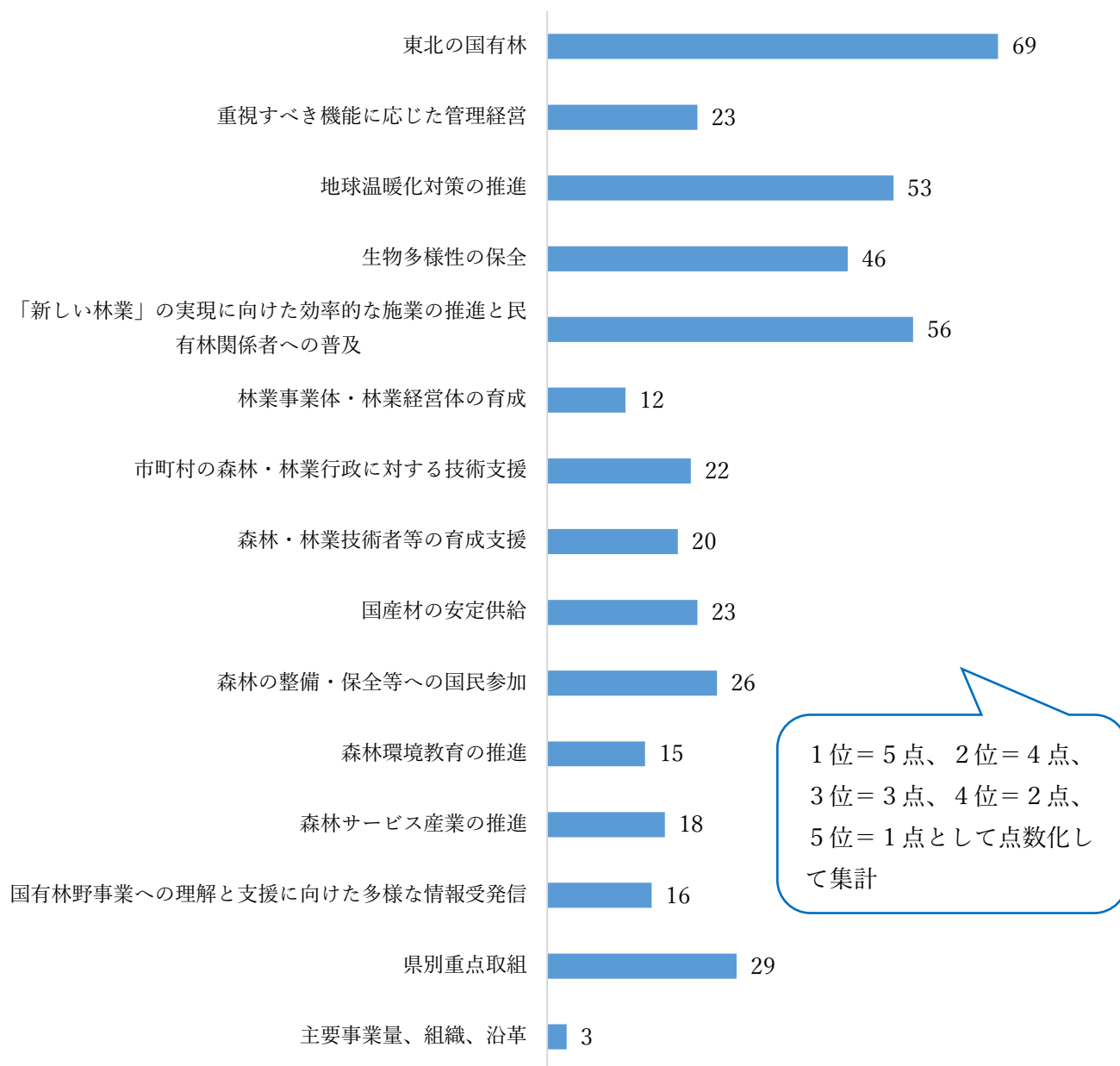
④国有林の取組が分かる内容でしたか。



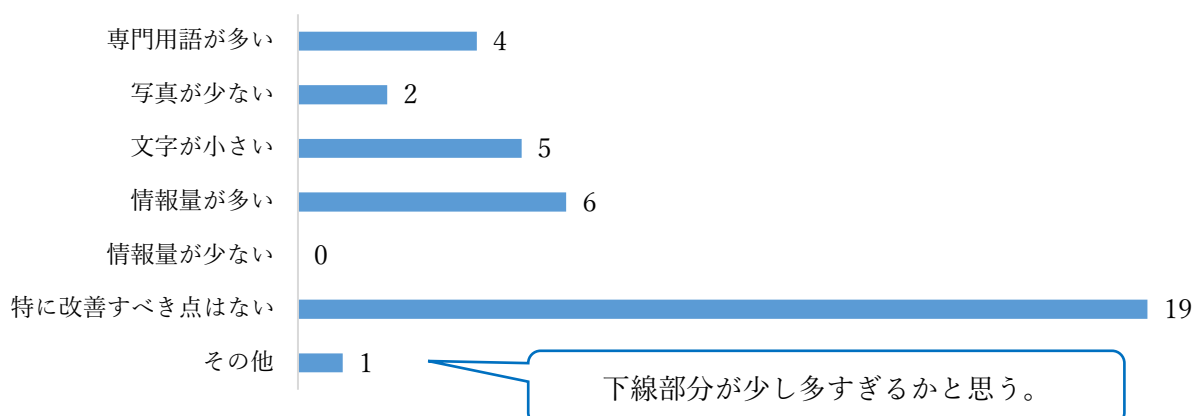
⑤レイアウトについて、どのような印象を受けますか。



⑥興味深かった項目順に5つ教えてください。



⑦改善すべきだと思う点はありませんか。（複数回答）



⑧パンフレットに掲載してほしい内容や、御感想。

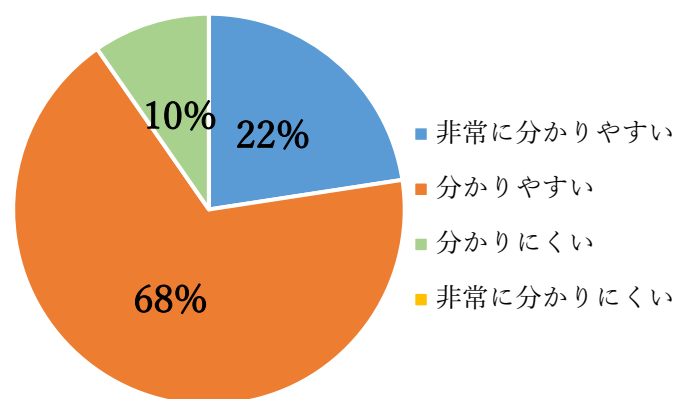
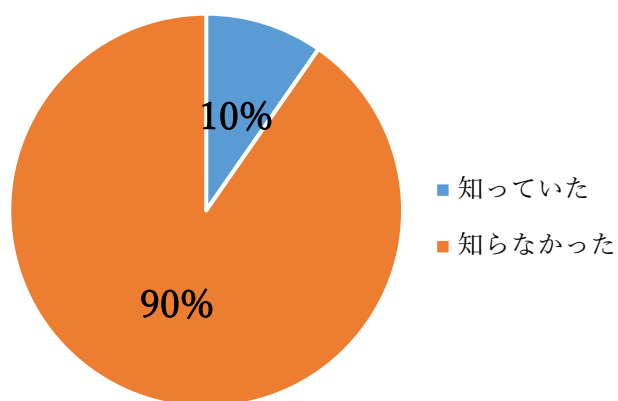
- ・シカや動物による被害や、蔵王でのオオシラビソの立ち枯れについて、もう少し詳しく掲載して欲しいと思った。
- ・海外での林業、森林教育について掲載して欲しい。
- ・国有林モニターに応募した理由や国有林モニターを経験して、その後に活かしている事例などあったら良いかと思う。
- ・誰に向けて情報を発信しているのかが分からない内容となっている。
- ・令和9年秋田県で開催される全国育樹祭の紹介。

（２）「みどりの東北」は、毎月発行している東北森林管理局の広報誌です。管内に所在する署等の取組や国有林野所在市町村の魅力等を紹介しています。「みどりの東北」について次の問いにお答えください。

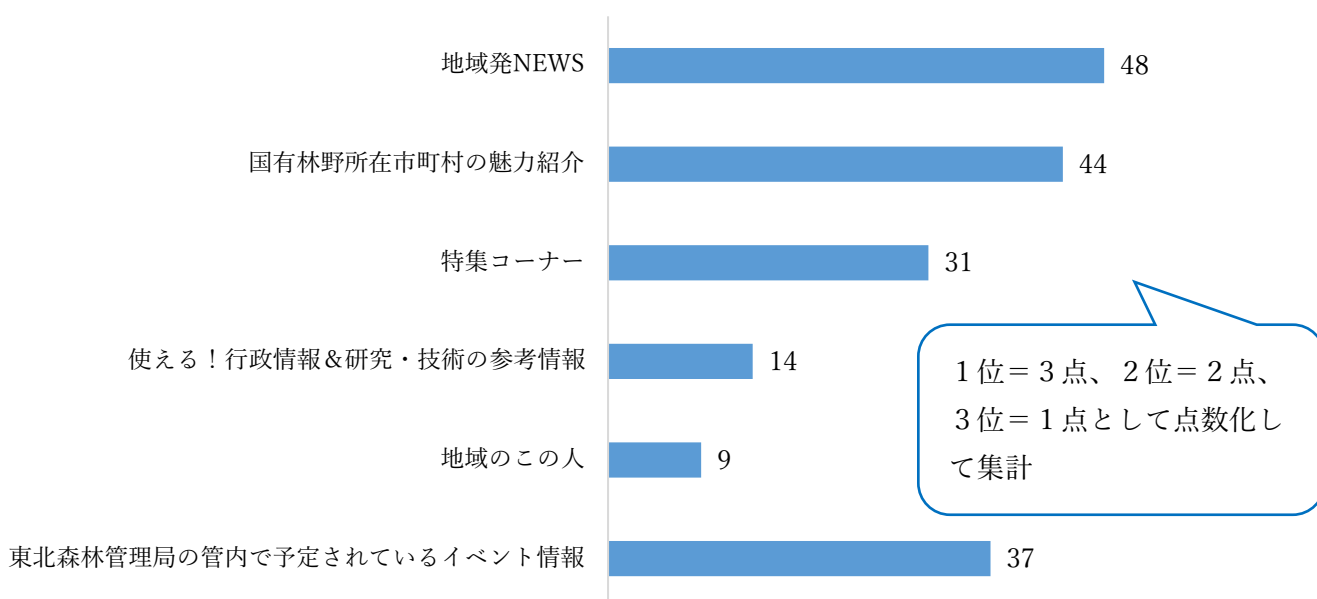
①国有林モニターになる前から

「みどりの東北」を御存知でしたか。

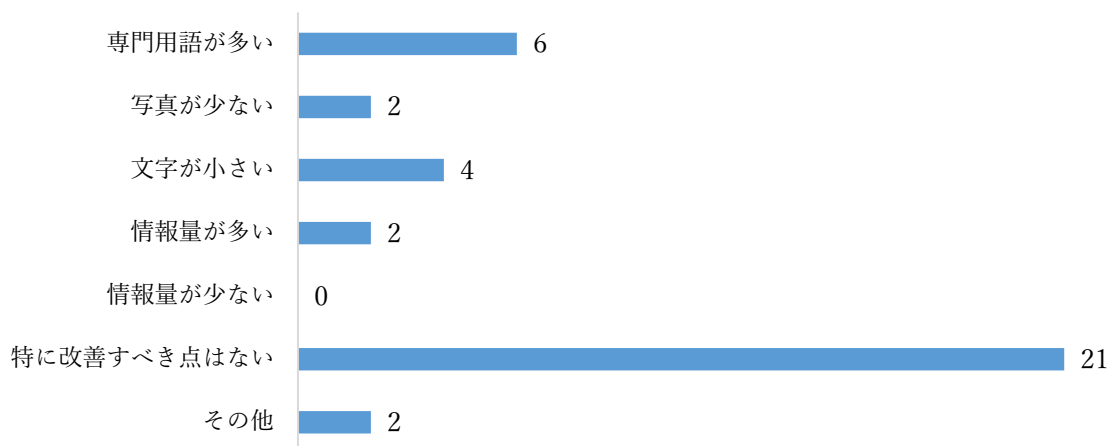
②内容は分かりやすいものでしたか。



③興味深かった項目順に3つ教えてください。



④改善すべきだと思う点がありましたか。(複数回答)



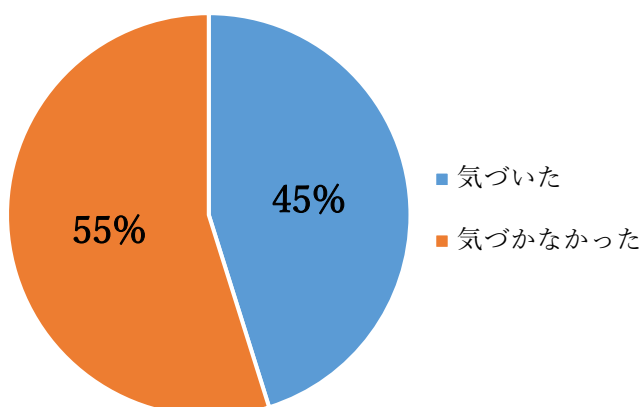
【その他】

- ・東北5県の各県毎に色分けして記事にメリハリを付けると、もっと読みやすいのではないかと。
- ・イベント情報のイベントに参加したいと思っているので、開催の1か月以上前くらいまでに掲載して欲しい。

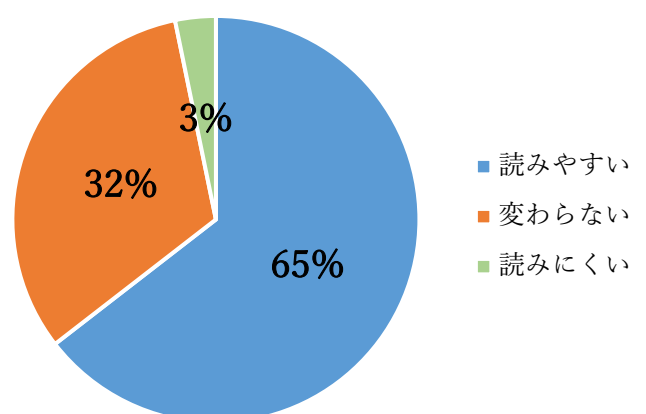
⑤「みどりの東北」は令和6年12月に実施したアンケートを基に、令和7年度からリニューアルしています。3月号(No. 252)までと比べ、印象はどのように変わりましたか。

※改善点：①文字サイズを下げ余白を取り読みやすくし、誤読しないフォントを使用、②市町村紹介に概要欄・特集に要約・表紙にトピックスを追加、③イベント掲載期間を半月後ろへずらす(発行月下旬～翌月中旬に変更)、④臨場感のある写真の掲載。

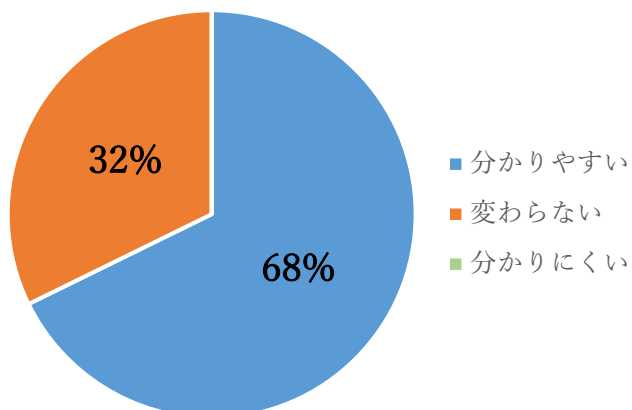
a. リニューアルに気づいたか



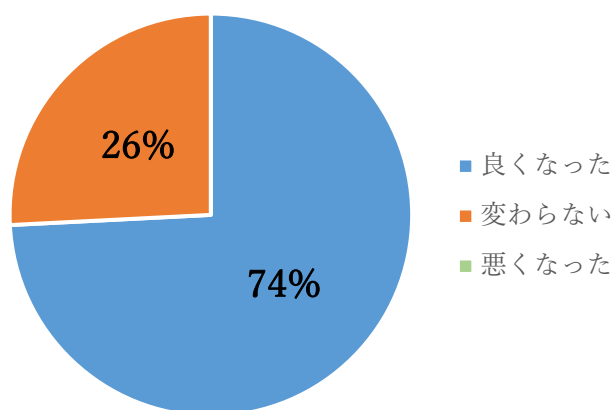
b. 文字の大きさやフォント



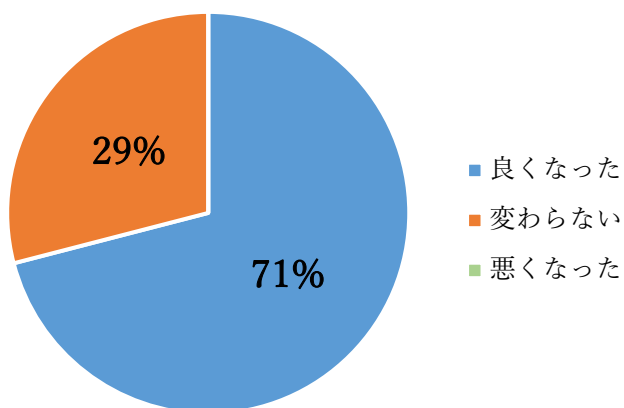
c. 概要や要約の追加



d. レイアウトや写真



e. イベント掲載期間

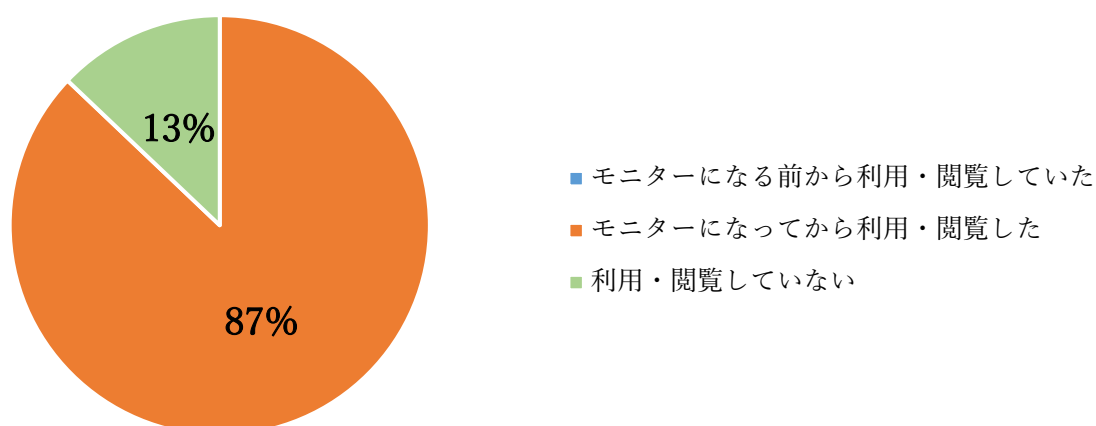


⑥広報誌に掲載してほしい情報や、御感想。

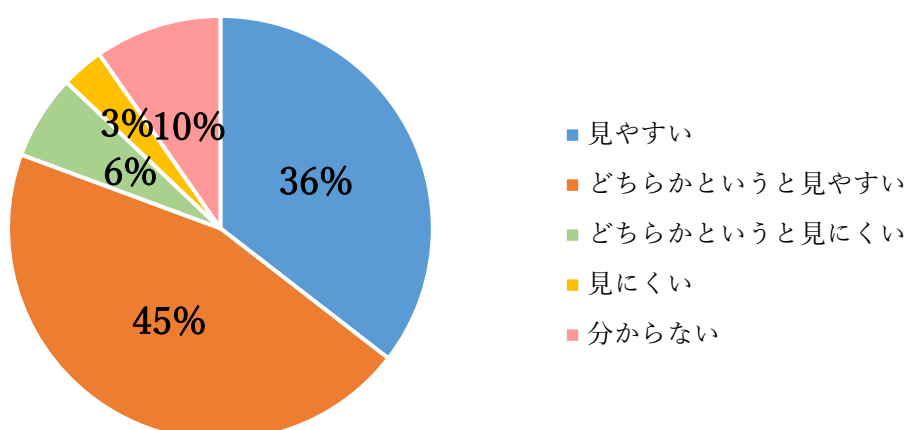
- ・配付されると必ず目を通し、じっくり拝読しているが、今まで通りで良い。見やすく、伝達事項も分かりやすく、知人にも、知り得た情報などを伝えている。イベントも便利に活用できている。
- ・イベント情報の開催場所が他県だと分かりづらいので、市町村名が掲載されると調べやすいと思う。
- ・小学校教師をしている関係で、みどりの東北を教材に使ったことがある。プラスチックから木材製品への転換の取り組みなどを掲載してはどうか（ホテルに宿泊した際、くしが木で作られていたことがあった）。
- ・東北地方の情報を知ることが出来てとても良い。なかなか近くでも行けない県もあるので、楽しく拝見している。
- ・指摘され読み直し改めて見やすくなっていると感じた。
- ・紙媒体でもらっていないため、比較がしにくく今まで改善に気が付かなかった。

（３）東北森林管理局ホームページでは、イベントやレクリエーションの森の紹介等様々な情報を発信しています。ホームページについて次の問いにお答えください。

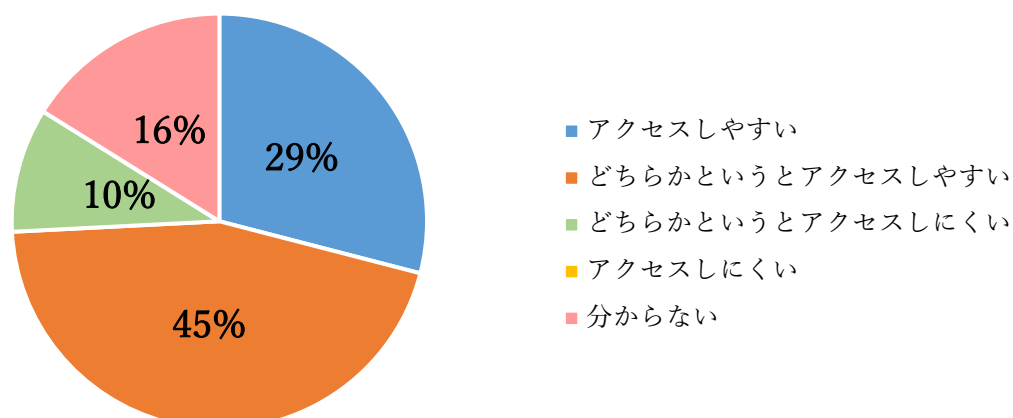
①東北森林管理局のホームページを御存知でしたか。



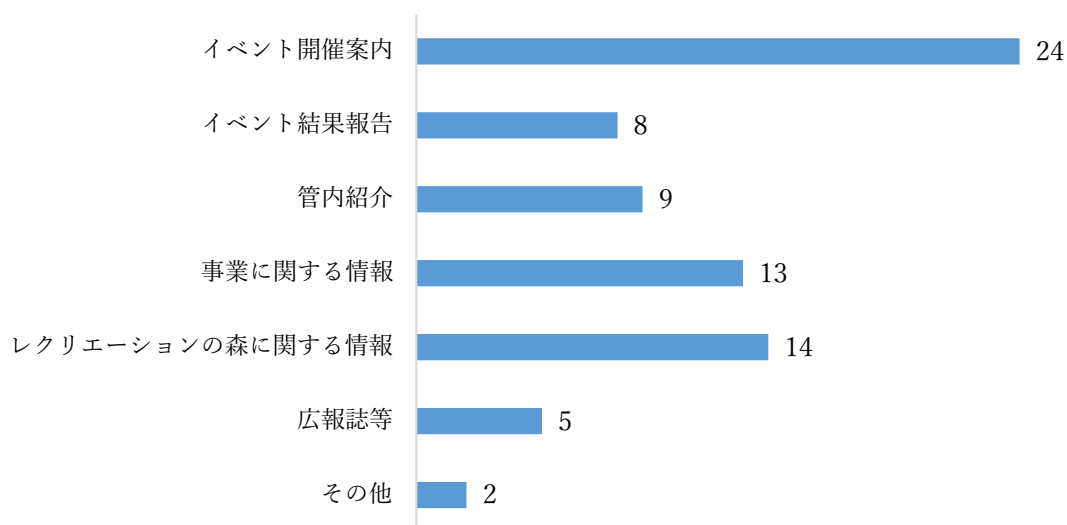
②レイアウトについて、どのような印象を受けますか。



③知りたい情報へのアクセスのしやすさ（目的のページへの到達のしやすさ）について、どのような印象を受けますか。



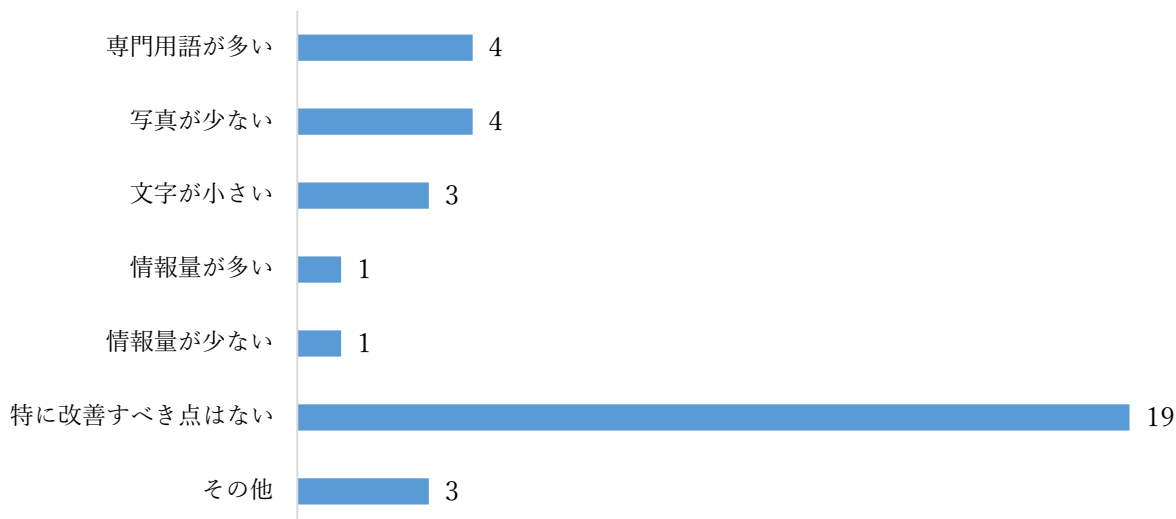
④ホームページにおいて、どのような情報を期待しますか。（複数回答）



【その他】

- ・何をしている団体なのか、みなさんにお知らせしたい情報、森林に対して気をつけて欲しいこと等の情報。

⑤改善すべきだと思う点がありましたか。（複数回答）



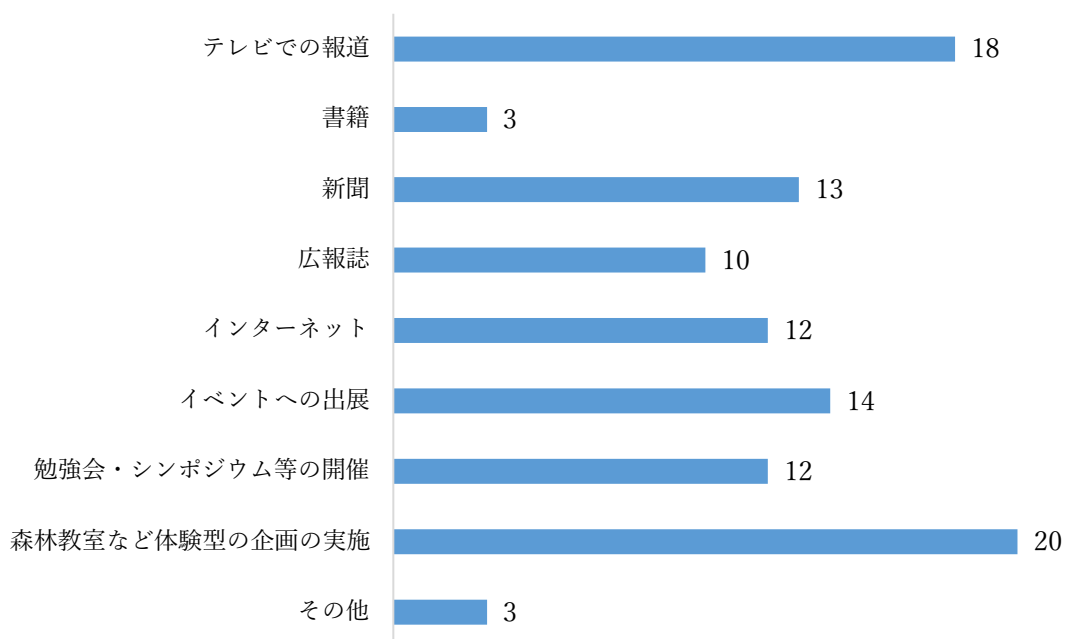
【その他】

- ・文字のフォントが今となっては固い感じがする。
- ・なんとなくメリハリが欲しい。
- ・忙しいとは思いますが、できれば新しい情報を載せて（適度に更新作業をして）欲しい。

⑥ホームページに掲載してほしい情報や、御感想。

- ・カードゲーム「ZORING」のダウンロードが出来るとあるが、カードを自分で切り貼りして作るのはなかなか大変なので、セットになったのをトランプのように箱詰めして製作して販売した方が良いのではないかと思います。
- ・民有林だが、大船渡市の林野火災の甚大な被害状況からどのように復旧・復興へ向かっていくのか、今後起こりうる災害に備えるためにも是非、詳細を順を追って記載して欲しい。
- ・緑色を多く使って印象的だった。それに季節感があり、山々の環境の大切さを感じさせている。自然は山・海・星・平地のバランスと考えている。
- ・広報誌、パンフレット等を拝読し、情報はたくさんもらっているのに、あまりホームページは覗かない（週1回位）。
- ・スマホ、パソコン苦手な為ホームページの閲覧が難しい。
- ・一般人もホームページにたどり着くこともあるので、可能ならば人材募集なども掲載していいと思う。団体として力を入れていること等アピールしたいことを載せたらいいのでは。

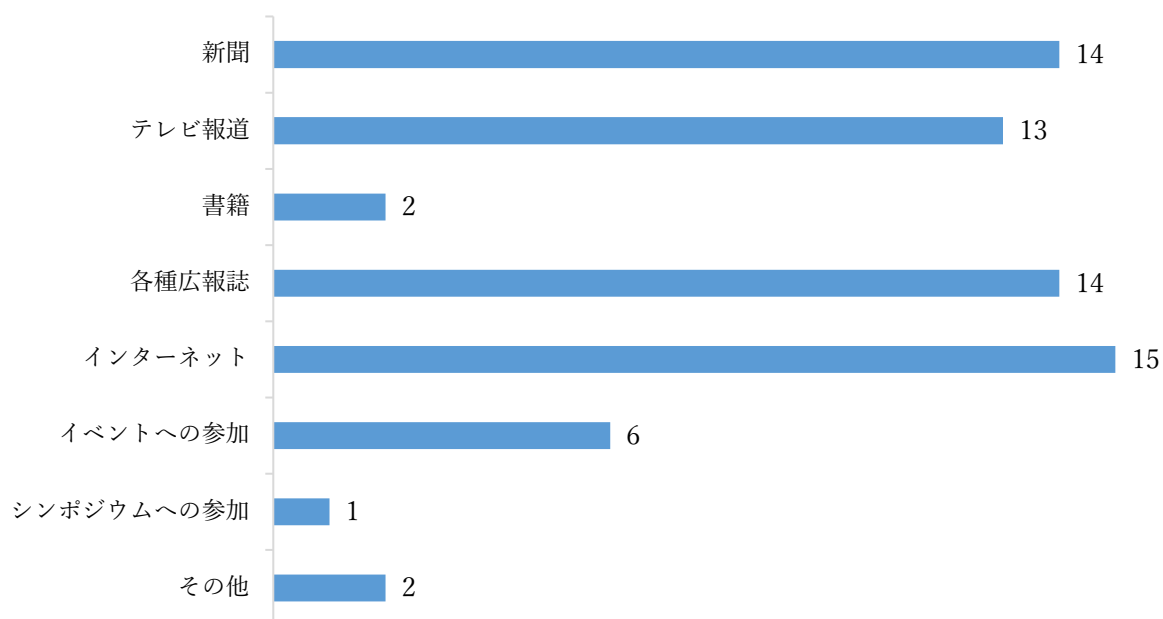
（４）国有林について様々な方法で情報提供をしておりますが、望ましいと思う情報提供方法について。（複数回答）



【その他】

- ・ラジオ番組での取組情報提供。
- ・今は電子媒体での広報が重要とは思いますが、紙媒体の簡易な広報パンフの掲示・配布もまだ必要だと感じる。
- ・全国各地の里山ウォーキングイベントとコラボレーション。

(5) モニターで送付している資料以外に、どのような方法で国有林に関する情報を得ていますか。(複数回答)



【その他】

- ・ 情報を得ていない。
- ・ 林業の方からの情報。

(6) モニターでこれまでに送付した資料以外に、追加であれば良かったと思う資料。

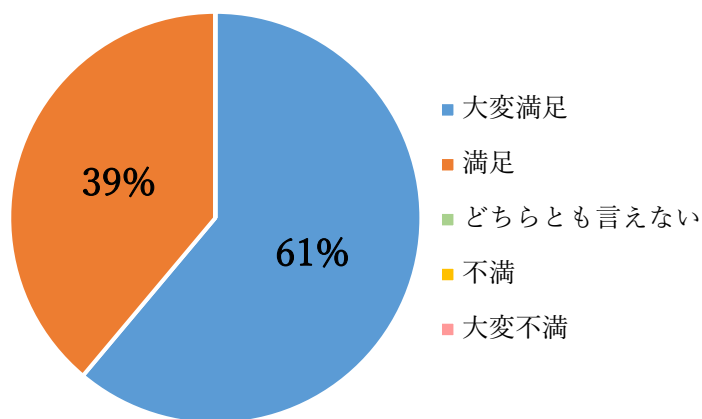
- ・ 樹木の種類と違い及び用途などの分かる図鑑・写真集的な解説資料。
- ・ モニター経験者の一言など。
- ・ 見学会でもらったヒバのカンナくず、防虫用に有効活用している。資料ではないが厚さ2cm くらいのスギかケヤキかヒバがもらえれば、家で穴を開けてペン立てを作りたいと思った。
- ・ 毎回盛沢山の資料で、情報は足りていると思う。
- ・ 案件によるがドローンなどで撮った空撮写真も見なかった。
- ・ 東北森林管理局が国の合同庁舎だと知り、同居している他の国の機関を紹介することも森林管理局への関心を高める上で有効な方法だと考える。
- ・ 国有林野施業実施計画図や基本図林班一覧表などの見方ガイド。

3 現地見学会について

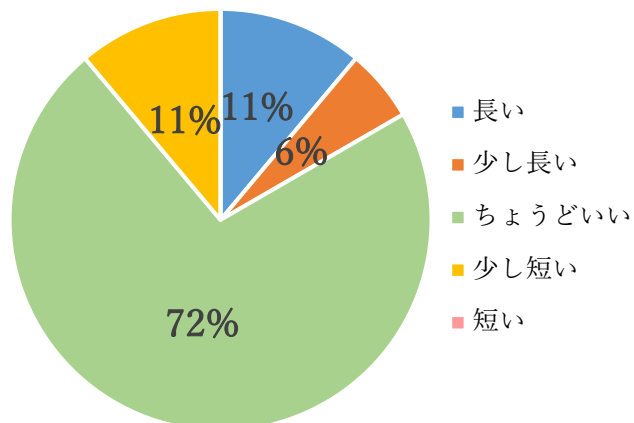
(1) 9月2日(火)に山形森林管理署管内で実施した現地見学会について、教えてください。

<蔵王のオオシラビソ林再生の取組箇所見学>

見学内容

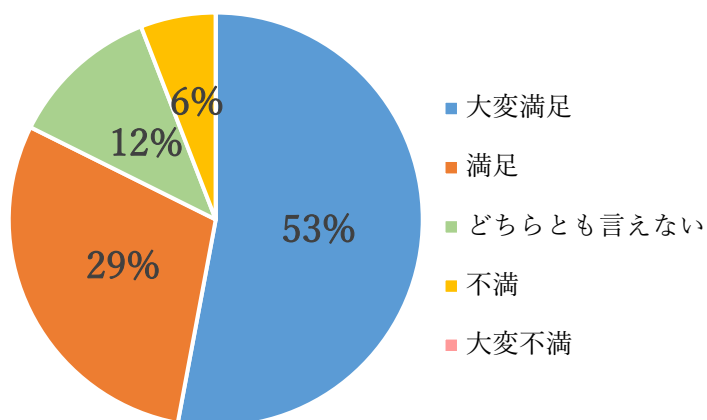


見学時間

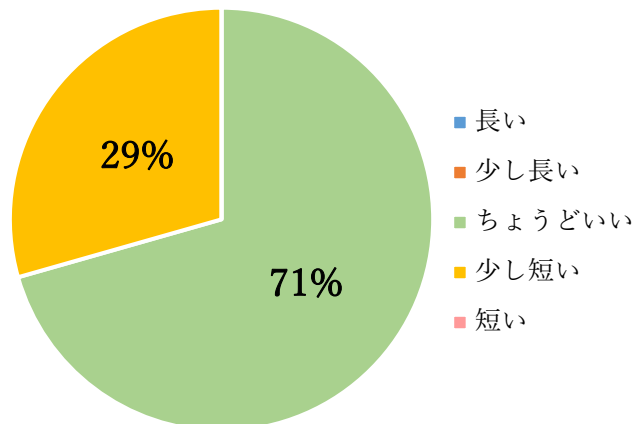


<エリートツリー次代検定林見学>

見学内容

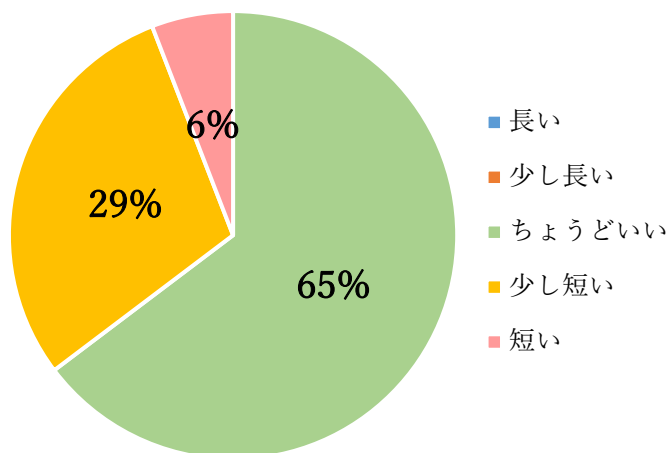


見学時間

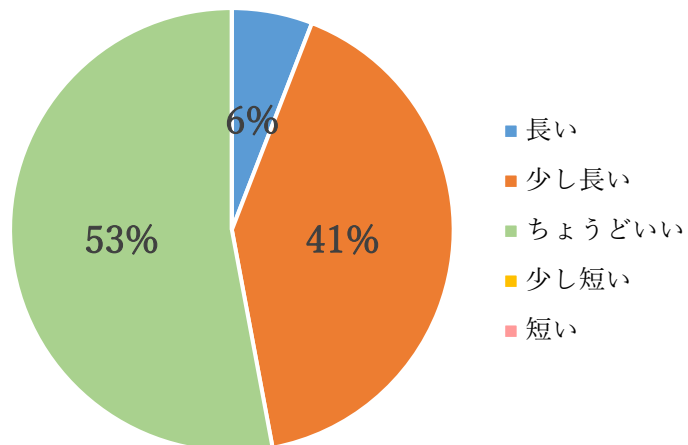


<見学会全体>

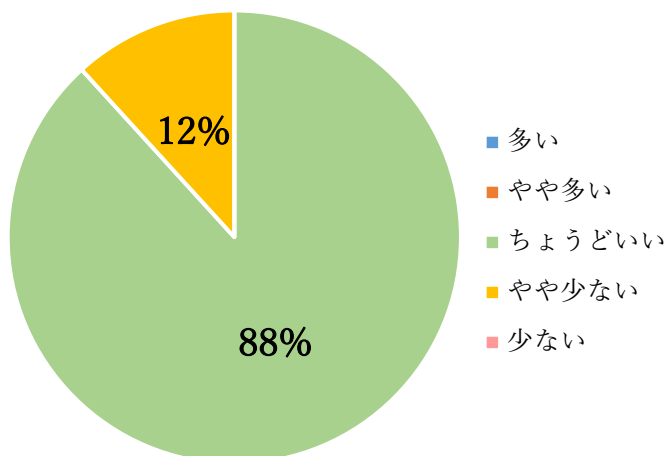
昼食時間



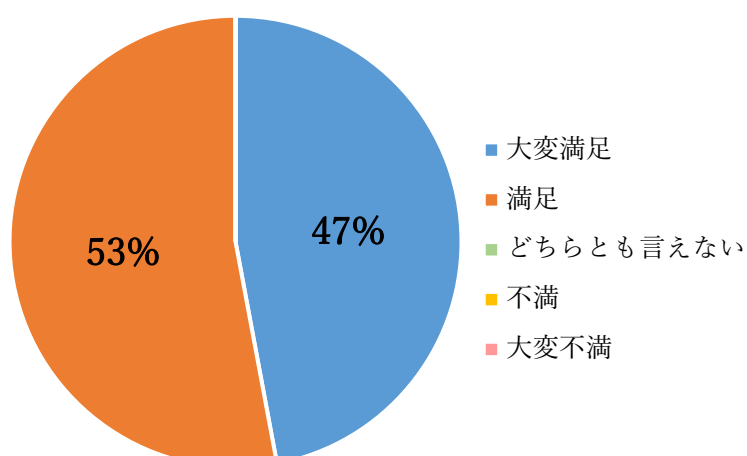
移動時間



配布資料



満足度



(2) 今回の現地見学会についての意見・感想等。

- ・改めて、林業は時間と手間がかかる大変な仕事だと思った。
- ・専門性の高さや管理の規模の大きさに感心した。将来を見据えた持続可能な取組が印象に残った。
- ・内容は非常に満足。行程について、ロープウェイの待ち時間は工夫次第で一部省略可能と思った。
- ・蔵王の実情は、衝撃でした。
- ・貴重な見学会となり大変有意義でした。また機会があれば参加したいと思った。
- ・エリートツリーの見学時、ハチの巣があるという情報があらかじめ分かっていたのであれば、現地到着前のバスの中で情報提供してもらえると長袖着用など準備ができたと思う。また、前泊のホテルが少し古い建物、設備だったのが残念。

- ・エリートツリー現地まで悪路をずっと走ったため車酔いが心配で、あまり行程を楽しめなかった。
- ・オオシラビソ見学時、若干足場が悪くなかったのも、スニーカーではなく持参の山用の靴に履き替えた方が良かった。舗装された道路以外の山に入るのであれば、事前にお知らせが欲しかった。エリートツリー見学後、バスの後部に大きなアブが入っていることに気づき、前方の職員の方に伝えたが、特に何事でもないような感じで、何の言葉も対応もないことが残念だった。見学時にはハチ対策の防蜂網があったが、寧ろバスの方が危険だった。隣席の方が退治してくれたが、虫の対策及び対応においては多少の残念さを感じた。
- ・蔵王のオオシラビソを見学し、国有林がもつ観光資源としての需要ということを改めて実感した。病虫害の増殖は異常気象が関係しているのだろうか。いずれ、再生への大変な苦勞が伺え、とても感慨深い見学となった。
- ・集合写真を撮って欲しいと思った。
- ・時間はかかるが、後世に残していく活動が素晴らしいと思った。誤っている説明について指摘しても訂正がなかったのが残念。
- ・オオシラビソ林再生活動についていろんな努力が行われていることがよく分かったが、国・市町村・民の連携がどの程度充実しているのかはよく分からなかった。エリートツリー見学については、林野庁の育種全体について、DNA マーカー育種みたいなものは別途行われているのか等についても知りたかった。
- ・約 20 人の参加者なのに職員の説明時に話が全く聞こえてこない。せっかく拡声器があったのに使用しておらず、エリートツリー時は後ろにいたため聞こえなかった。
- ・今まで蔵王におけるオオシラビソがこのような現状になっているとは知らなかった。その目で今後森吉山にも注目していきたい。こうした問題提起型の現地見学会はとても重要であると思う。今後も期待したい。
- ・エリートツリーを現地で見たが、実際のエリアが大きすぎて分かりづらかったのも、現地を写真で説明やポインターを使って指し示す等して欲しかった。オオシラビソについては質問にもたくさん答えてくれて理解が深まった。
- ・地元の国有林野について現地視察できたのはとても有意義でありがたかった。オオシラビソの大規模枯死については、想像以上の酷さでとてもショックだった。あそこまで悪化する前はどのような施策をとっていたのか。帰宅後は個人の SNS へのアップや家族に写真を見せながらの説明等で、情報を広げている。秋田のスギ林や白神山地の管理・整備状況や森林火災の復興状況なども視察したかったので残念だったが、これはこれでとても大切な内容であり、貴重な機会に感謝する。

(3) 今回の現地見学会に参加いただけなかった理由（複数回答可）

